

PRESS RELEASE

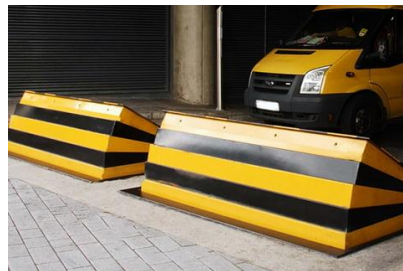
当社子会社の ESCO、マレーシアの大規模データセンターにおける物理セキュリティ統合プロジェクトを受注

テクノホライゾン株式会社のグループ会社である ESCO は、このたびマレーシアにおいて建設が進められている大規模データセンターのセキュリティプロジェクトにおいて、包括的な物理セキュリティソリューションを大型受注いたしましたのでお知らせいたします。

■ 本受注の背景と ESCO の「Hostile Mitigation (HM)」ソリューション

近年、東南アジア地域におけるデータセンター需要の急増に伴い、敷地周辺および施設全体の高度な物理セキュリティ対策の重要性が高まっています。

当社グループの ESCO は、事業領域を物理セキュリティ分野へと拡大しており、特に Hostile Mitigation (HM: 悪意ある不法侵入や過激な車両突入などのリスクを低減・阻害する物理的セキュリティ対策) を主力事業の一つとして展開しています。初期の予算計画や設計から機器調達、導入施工、アフターサービスに至るプロジェクトのライフサイクル全体を単一窓口で一貫支援する「ターンキー方式」により、高品質な HM ソリューションを提供しております。



※写真はイメージであり、実際とは異なります。

本プロジェクトにおきましても、以下の ESCO の強みが高く評価され、今回の大型受注に至りました。

1. マルチブランド統合による最適な HM ソリューション提案

複数の主要ブランド製品を一元的に取り扱い、互いに補完し合う製品・技術を統合することで、お客様固有の厳格な防犯・防災要件に合わせた最適な周辺セキュリティ環境を構築します。

2. アジア複数拠点による地域標準化サポート

アジアの複数国に拠点を構えるネットワークを活かし、広域展開を推進する法人のお客様に対して、単一窓口による円滑なサポートと地域単位でのセキュリティ標準化を実現します。

3. 豊富なグローバル実績と信頼

ESCO はこれまでも、ハイパースケールデータセンターをはじめとするグローバル IT 企業や大手データセンター事業者（Google、AWS、Microsoft、Meta[Facebook]、K2、NEXTDC、EdgeConneX 等）のプロジェクトを数多く手掛けてまいりました。これらで培ったノウハウと高い施工・運用クオリティが本受注につながっております。

■今後の展望

当社グループは今後も、急成長を続けるアジア太平洋地域のデータセンター市場において、高度化・多様化するセキュリティニーズに応えるとともに、HM ソリューションの提供を通じてお客様の安全で安定した事業基盤の構築に貢献してまいります。

■テクノホライゾン株式会社について

テクノホライゾングループは、映像&IT 及びロボティクス事業を核にさまざまな製品とサービスを提供し、グローバルな「人と社会」に貢献することを事業のミッションといたしております。当グループが対象とする市場分野は、教育、安全・生活、医療、FA など多様な分野にわたりますが、「技術を活かすこと」「皆さまのお役に立つこと」「豊かな社会を実現すること」に関しては一貫してその姿勢を貫いております。そして今後さらに、「輝く地平線（ホライゾン）」をめざして着実に前進する所存でございます。

設立：2010 年 4 月 1 日

代表者：代表取締役社長 野村 拡伸

本社：愛知県名古屋市南区千竈通二丁目 13 番地 1

URL：<https://www.technohorizon.co.jp/>

- テクノホライゾンロゴは、テクノホライゾン株式会社の登録商標です。
- その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

【本件に関するお問合せ先】



e-mail：thu-eizo_itbusiness-openinnovationsuishin@th-grp.jp

テクノホライゾン株式会社 映像&IT ビジネス本部 オープンイノベーション推進部

〒457-0071 愛知県名古屋市南区千竈通二丁目 13 番地 1